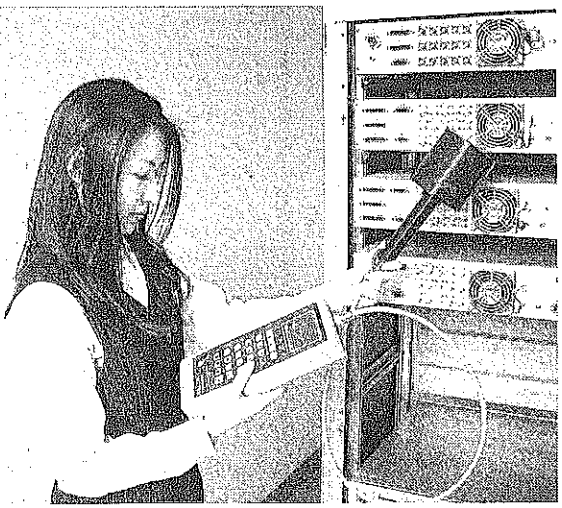
新聞 （第三種郵便物認可） 2012/7/10 電波

製造装置・材料・計測

営電 スペ・アナに本格参入

電磁界測定器開発に生かす

営電は、スペクトラム・アナライザを自社開発した。これにより電磁界測定器「SpectrumMate FHA7902」をあす11日から市場に投入する。年間販売目標は100台。同時に、スペ・アナ市場に本格参入を図る。



深川 取締役

この電磁界測定器は、ハンディタイプのスペクトラム・アナライザ「同7900」と、広帯域アンテナ「FHA7902」で構成。スペ・アナの周波数範囲は100キロヘルツから1ギガヘルツで、ノイズレベルは約マイナス14

電磁界測定器「SpectrumMate FHA7902」と測定イメージ

0dBm/ヘルツを実現した。

モニターは、3・5インチのカラーディスプレイ。約4時間駆動するバッテリを搭載しており、ACアダプタやUSBによる電源供給も可能だ。サイズは130×56×268ミリ、重さは約1・5キロ。

広帯域アンテナは、周波数帯域が30メガヘルツから1ギガヘルツをカバー。サイズは長さ240ミリで、最大直径100ミリ。重さは約0・35キロ。

深川正人取締役企画室長は「当社が長年培ってきた全世界対応のテレビ信号発生器を開発している技術を、RF（高周波）開発に生かした」と開発背景を語る。また「子会社のエレナ電子が持つEMC技術が、広帯域アンテナの開発に貢献した」と話す。

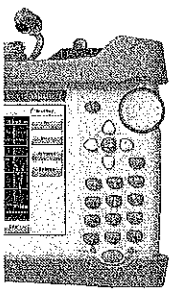
エレナ電子は、電磁環境テストセルなどを手掛け、無線通信装置の性能評価や不要輻射ノイズ測定、耐放射電磁界試験などのEMC試験に貢献している。

「スペ・アナ参入に伴い、放送や通信関連の設計・製作・実施検査と工事業者、電磁干渉や無線ネットワーク技術者など幅広い分野に提案。ハンディタイプのラインアップを拡充する」（深川取締役）。

このほかの特徴は、GPS機能で位置情報の記録ができる、USBを介したデータ転送やリモート制御が可能、SDメモリーによるデー保存ができる、など。

屋外測定要求に応える

アンリツがサイトマスタ



させたサイト

り、S331Dのユーザーは、特別なトレーニングを実施することな、利用できる。

半導体・FPD製造装置需要予測

13年度21%増見込む 12年度FPDは大幅減に

日本半導体製造装置協会（SEAJ）はこのほど、半導体およびFPD製造装置の14年度までの需要予測を発表した。

日本製半導体製造装置の国内外への販売額は、11年度実績が前年比1・8%増の1兆2637億円。12年度は、設備投資上位の半導体メーカーが前年と同水準の投資が見込まれることから、製造装置販売も同じ

度はDRAMメーカーの経営破綻や、NAND型フラッシュメモリーの投資判断などで、前年比19%減少し3687億円になると予想。13年度は同10・8%増の4087億円、14年度は同2・8%増の4202億円と回復を見込む。

日本製FPD製造装置の国内外への11年度販売実績は、前年比15・4%減の3250億円。12年度はテレビ向けを中心とした大型パネル面各の生産ことよう、パ

減の2600億円と予想する。

日本製半導体／FPD製造装置の11年度販売実績は、前年比2・3%減の1兆5887億円。12年度はFPD製造装置販売の急激な落ち込みで、同10・1%減の1兆4275億円を予想。13年度は同20・8%増の1兆7242億円、14年度は同0・5%増の1兆7326億円を見込む。

プ ッ ラ ANA な ア

日本精工 メガトルクモーター

日本精工は、メカトロ事業の一環として「メガトルクモーター」のビジネスを拡大している。新製品「PXシリーズ」を投入するとともに、海外需要の広がりにも対応している。

同社のメカトロ事業は、軸受け、直動製品にセンサーなどとエレクトロニクス技術を融合させて、新しいシステム製品を開発、製品化している。

森田 事業部長

優れた能力を発揮

メガトルクモーターは、

新製品で海外市場を

製造工程などで用いられ、これまでに中軽量物の高速搬送用途に向けて「PSシリーズ」、大物・重量物の高速搬送向けに「PNシリーズ」を投入している。

新製品として、軽量負荷の高速搬送に適したPXシリーズを10月から発売する。電子部品やLED、電子デバイスなどのタレット

同事業の主力の一つ。高精度、高トルク、軽量・小型化を実現したダイレクトドライブモーター（DDモーター）で高精度位置決め装置、高精度搬送装置として優れた能力を発揮する。

半導体／液晶製造装置や式ハンドラ装置（電子デバイスなどの供給・計測・選別を連続的に行うための装置）向けが主な用途となっている。

モーターの可動部（ローター）の自己慣性モーメントを極限まで小さくし、そ

の外周に高出力な巻線を配置した構造とし、加減速性能（目標回転速度に到達するまでの時間）を従来比約2倍に高めた。

モーターの剛性を高めることで回転テーブルの振動を抑制し、計測精度を向上した。外径サイズを直径160ミリに抑えながらも、吸着ノズルの配管や信号配

線

窒

位